

この PDF は以下の書籍から第 1 課 (p.5 - p.10) を抜粋したものです。

古閑恭子, サミュエル・アンポンサー. 2009. *Let's study Akan! = Ma yɛnsũã Twii!* 府中: 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所.



第1課 Adisũã a ɛdi kan

アカン語の文字と発音

この課では、アカン語の文字と発音を学習します。本テキストで用いる表記法は、概ね正書法*に準じます。

● 母音

母音は、大きく口母音と鼻母音に分類されます。

● 口母音

口母音は以下の9つがあります。ɛと ɔ は基本的に i, u と共起し、それ以外の母音や e, o 同士の組み合わせはほとんどありません。なお、e, ɔ の補助記号は正書法にはありません。

i [i]	dí 食べる	ɛtí 頭	◀ 1-01
e [ɛ]	té 分かる	ateré スプーン	
ɛ [e]	wɛí これ	kɛnté ケンテ布	
ɛ [ɛ]	dé 甘い	ɔbɛɛ́má 男	
u [u]	bú 折る	dúku スカーフ	
o [u]	tó 投げる	hóró 洗う	
ɔ [o]	kɔsuá 卵	mɔntó たばこの葉	
ɔ [ɔ]	bó 打つ	bótó 袋	
a [a] (i, u の前では[ɜ])	dá 寝る	ɔbáá 女	
	daabí いいえ	kari (重さを) はかる	
	ただし次の2語は例外的に[ɜ]		
	prá'kó 豚	makó トウガラシ	

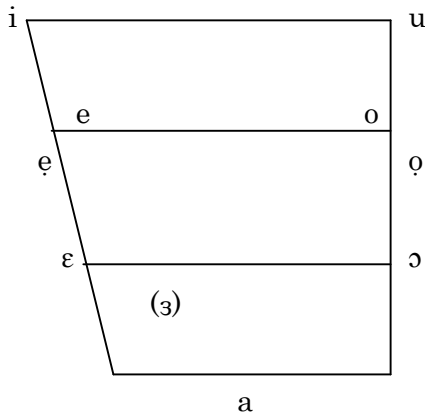
● 鼻母音

鼻母音は、以下の5つがあります。ただし、鼻子音に隣接する母音は全て鼻母音になり、この場合の鼻音補助記号は付しません。なお、鼻音補助記号は正書法にはありません。

* 伝統的に、アカン語の9方言のうちアサンテ方言、ファンテ方言、アクアペム方言の3方言のみがそれぞれ異なる正書法で書かれてきましたが、1968年に政府がこれらを統一した正書法を発表しました。しかし、統一正書法はほとんど普及していないのが実情です。

ĩ [i]	hĩã 困らせる	ẹfíí 垢	◀ 1-02
ẽ [i]	eséé 齒	aféé 櫛	
ũ [u]	hú 見る	sũã 学ぶ	
õ [u]	tó 焼く	asóó 耳	
ã [ã](i, uの前では[ɜ])	ká 運転する	nsá 酒	
	osũã'ní 学生	abusũãfié 家族の家	

母音の図



Nhwɛsoo 1 母音の違いに注意しながら発音してみましょう。 ▶ 1-03

- | | | |
|-------------|---------|-------|
| 1. dí 食べる | de …という | dé 甘い |
| 2. bú 折る | bó 酔う | bó 打つ |
| 3. hú 吹く | hú 見る | |
| 4. tó 投げる | tó 焼く | |
| 5. fí …から来る | fí 汚い | |
| 6. afé 年 | aféé 櫛 | |
| 7. ká かみつく | ká 運転する | |

● 子音

子音は、以下の 24 です。

▶ 1-04

p [p]	pá 良い	apém 千
b [b]	bá 来る	bú 折る
t [t]	tó 買う	tena 住む
d [d]	dó 愛する	adéé 物
ky [c]	kyerɛ 教える	kyé 分ける
gy [j]	gyé 得る	ɛgyá 火
k [k]	kó 行く	ɛkúrọ 傷
g [g]	góró 遊ぶ	gó やわらかくなる
f [f]	fá 取る	ɛfié 家

s [s]	sá 踊る	asó 鍬
hy [ç]	hyé 着る	hyia 会う
h [h]	há 心配させる	húru 沸く
r [ɹ]	móre つめ	hóro 洗う
l [l]	lóre ローリー	
m [m]	má あげる	pám 縫う
n [n]	éna そして	naná 祖父母
ny [ɲ]	Ōnyamé 神	nyín 成長する
w [w] (i, e の前では[ɥ])	wéi これ	wú 死ぬ
	wię 終える	wesá こしょう
y [j]	yí 動かす	oyaréé 病気
tw [cʷ]	twá 切る	nantwié 牛
dw [ɟʷ]	ɔdwán 羊	abodwée あご
hw [çʷ]	ahwé'dée さとうきび	hwé 見る
kw [kʷ]	kwá'yé 森	ekwán 道
nw [ɲʷ]	nnwíí 毛	akɔnwá イス

子音の表

調音点 調音法	唇	歯茎	硬口蓋	円唇硬口蓋	軟口蓋	円唇軟口蓋	声門
閉鎖音	p b	t d	ky gy	tw dw	k g	kw	
鼻音	m	n	ny	nw			
摩擦音	f	s	hy	hw			h
接近音		r (l)	y			w	

Nhwesoo 2 子音の違いに注意しながら発音してみましょう。

◀ 1-05

1. akyí 背中 twí 運転する
kyén 勝る twén 待つ
2. agyán 弓矢 ɔdwán 羊
agyá 父 adwá イス
3. nane 溶ける nyane 目覚める nwéné 織る
ním 知っている nyém 妊娠する nwén 織る
4. hyé 着る hwé 見る
hyehye 着飾る hwehwe 探す
5. ekán 1番の ekwán 道
kata 覆う kwatá らい病

● 音節構造

音節は以下の5種類です (C: 子音, V: 母音, N: 鼻子音)。

◀ 1-06

V	<i>ɔkó</i>	彼は行く
CV	<i>kó</i>	行く
N	<i>nsá</i>	手
VN	<i>ankaá</i>	オレンジ
CVN	<i>nóm</i>	飲む

次のように、**CVrV** (第一母音は i, e, u, o) の第一母音は非常に短く発音され、1音節のように聞こえます (しかし CV の声調は保持されます)。

◀ 1-07

<i>té^hfíé</i>	< <i>té^hféré</i>	ゴキブリ
<i>ẹkúrọ́</i>	< <i>ẹkúrọ́</i>	傷
<i>nsúrọ́má</i>	< <i>nsúrọ́má</i>	星

また次のように、**sVCV** (第一母音は i, u) の第一母音は無声化し、ほとんど1音節に聞こえます (しかし sV の声調は保持されます)。

◀ 1-08

<i>ská</i>	< <i>siká</i>	お金
<i>skúu</i>	< <i>sukúu</i>	学校

Cua, Cuọ (Cは歯茎子音) では、母音間に**渡り音[j]**が挿入されます (この渡り音は、本テキストでは表記しません)。

◀ 1-09

<i>nsúọ</i>	[<i>nsújọ</i>]	水
<i>ẹduá</i>	[<i>edujá</i>]	木
<i>kọsuá</i>	[<i>kosujá</i>]	卵

● 成節鼻音

成節鼻音は、接頭辞として発話頭に現れ、後続子音の同調音点鼻音として実現します。

<i>mmasá</i>	[<i>mmasá</i>]	(複数) 腕	◀ 1-10
<i>Mmó!</i>	[<i>mmó</i>]	打たないで!	
<i>Ntia!</i>	[<i>ntia</i>]	踏まないで!	
<i>nkyédée</i>	[<i>ɲcédíé</i>]	(複数) プレゼント	
<i>Mkyeré!</i>	[<i>ɲciré</i>]	教えないで!	
<i>nkwan</i>	[<i>ɲk^wáj</i>]	スープ	
<i>Mkó!</i>	[<i>ɲkó</i>]	行かないで!	

● 音節末子音

音節末子音には、**m** と **n** があります。n は、直前の母音が a あるいは e の時には [ɲ]、それ以外の時は [ŋ] で発音されます。

asém	[asém]	話	◀ 1-11
enám	[enám]	肉	
ɔkrámán	[ɔkrámáj]	犬	
ɔdwan	[ɔj ^w áj]	羊	
edín	[edín]	名前	
abontén	[abontín]	外	

子音が後続する場合、すべての音節末鼻音は後続子音の同調音点鼻音になります。

dɔmpé	[dɔmpé]	骨	◀ 1-12
apantán	[apantáj]	あご	
nantwíé	[nant ^{wíé}]	牛	
nanká	[nanká]	へびの 1 種	

音節末子音には **w** もありますが、わずかな語にしか現れません。 ▶ 1-13

ɛyáw	痛み		
ɔháw	心配		
pa kyéw	謝る <帽子をとる>	*ただし ekyé	帽子

● 声調

まず 1 のように、**H (高声調: High)** と **L (低声調: Low)** が対立します。ただし発音上は、H と L の間にはさまざまなレベルの高さがあります。

2, 3 のように、L の後ろの H は、そうでない H よりもやや低くなります ([] 内の記号は、聴覚的な高さを視覚的に表したもの)。このような現象を**ダウンドリフト**と言います。これに対して、4 のように H の後ろにやや低い H が現れる場合があります。これは**ダウンステップ**と呼ばれる現象で、1 音節に LH が実現することによって起こります。

本テキストでは、H を(´)、ダウンステップ H を(+´)で表記し、L は表記なしまたは(̀)で表記します。声調記号は音節に付与します(̀ は CVN が HL で現れる場合のみ N に付与します。CVN が HL で現れるのは、基本的に派生による場合のみです)。なお、これらの声調記号は正書法にはありません。 ▶ 1-14

1.	dá	[´]	寝る
	da	[_]	これまで
2.	papá	[_´]	父
	papa	[_ _]	うちわ
	pápá	[´´]	とてもよく
3.	ámané	[´_´]	いわし
4.	á+kó	[´´]	オウム
	kó+tó	[´´]	カニ
	prá+kó	[_´´]	豚

アカン語の声調は、上に挙げたような語彙的な区別の他、文法的な区別の機能も果たします。これについては動詞の活用形で学習します。

Nhwɛsoɔ 3 声調の違いに注意しながら発音してみましょう。 ◀ 1-15

- | | | | |
|----|-------------|-----------|------------|
| 1. | papá 父 | papa うちわ | pápá とてもよく |
| 2. | ɛkuró 町 | ɛkúró 傷 | |
| 3. | fufúó フフ | fúfúó 白い | |
| 4. | ɔbɔ́fóó 創造主 | ɔbɔfóó 猟師 | ɔbó'fóó 使者 |

母音体系の歴史的変化

ɛ と ɔ の分布には他の母音に比べて制限が見られますが、これは通時的に、アカン語がもともと 9 母音体系であったものが 7 母音体系に移行しつつあるためです。つまり、ɛ と ɔ の多くが e[i], o[u] に融合したためです (Stewart 1970, 1971, 1983a)。

